

石川県立能楽堂 環境行動計画

取組方針

石川県立能楽堂は、古くから受け継がれている「加賀宝生」や、邦楽、舞踏などを保存振興し、あわせて県民文化の向上を図るための施設として開設されました。

私たちは、館の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題のひとつであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融合を図りながら進歩発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするため、以下の取組を職員一丸となって推進していきます。

- (1) 事業活動で使用する電気、、軽油等の使用量を削減し、二酸化炭素の低減をします。
- (2) 事業活動および事務業務で発生する廃棄物の削減をします。
- (3) 事業活動で使用する水、紙の使用量を把握するとともに削減します。
- (4) 事業活動で使用する化学物質・危険物は関連する法律を順守するとともに教育・訓練を積極的に行っていきます。
- (5) 職員の環境意識向上のためにこの取組方針を周知徹底いたします。

平成23年2月23日

石川県立能楽堂

館長

砂山 博保

5. 環境負荷の低減目標

環境負荷の低減目標は前年度実績を基準にして1%を削減していくことを目標とします。

(1) 二酸化炭素排出量

環境負荷		単位	平成20年実績
二酸化炭素排出量	電力	Kg-CO ₂	38,615
	灯油	Kg-CO ₂	7,026
	LPG	Kg-CO ₂	0
	ガソリン	Kg-CO ₂	0
	軽油	Kg-CO ₂	0
	合計	Kg-CO ₂	45,641

(2) 廃棄物排出量

環境負荷		単位	平成20年実績
廃棄物排出量	一般廃棄物	kg	1,200
	産業廃棄物	kg	-
	特別管理産業廃棄物	個	16
	合計	kg	1,200

(3) 水、コピー用紙

環境負荷	単位	平成20年実績
水の使用量	m ³	805
コピー用紙の使用量	kg	260

6. 環境負荷低減への具体的な取組

(1) 二酸化炭素排出量の削減

NO.	取組内容	評価	責任者
	(事務・業務部門での取組)		
1	事務室の空調温度を適正(冷房時28℃、暖房時20℃)に設定する	△	副館長
2	昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する	○	副館長
3	パソコンとコピー機の節電機能を活用する	△	副館長

(2) 廃棄物排出量の削減

	(一般廃棄物)		
1	ごみの分別回収を徹底(表示、ルール、当番等)	○	全員
2	リサイクルの推進(3R=reduceリデュース減量、reuseリユース再使用、recycleリサイクル)	△	全員
3	詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する	○	全員
4	製品をできるだけ長時間使用する	○	全員
	(特別管理産業廃棄物)		
1	廃棄物置き場の整備(表示と周知と清掃)	○	副館長

(3) 水使用量の削減

1	配管からの漏水など、設備の定期的に点検する	○	副館長
2	手洗い場・湯沸し場の節水	○	副館長

(4) コピー用紙使用量の削減

1	両面コピー、裏紙使用の推進	○	全員
2	会議用書類、ISO用書類のコピー枚数を最小限に	○	全員
3	書類の作成ミス、コピーミスをなくす	△	全員

7. 環境行動計画の実施体制

副館長をリーダーに、年一回取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックする。